

資料 7

令和3年度実施状況調査に対する委員評価の集計結果

S:特に良い成果を得た。
 A:良い成果を得た。
 B:期待した成果を得られなかった。
 C:検討中、未実施、終了のため評価なし。

基本理念	基本目標	施策	施策の展開	取組	担当課評価		項目	委員評価	意見・評価の理由 担当課評価と大きく異なる場合は必ず理由を記入してください。特に意見等がない場合は記入不要です。	各委員票数結果
					R2 (参考)	R3				
笑顔あふれる安心して暮らせる保健福祉都市をめざして	基本目標 1 安全・安心に住み続けられる環境づくり	【重点施策】 (1)健康づくり・生きがいづくりの充実	①健康寿命を延ばす健康づくり・介護予防の推進	1 介護予防を推進するために、介護予防教室(はつらつ元気アップ教室)を開催し、栄養、口腔ケアなどをテーマにした講演などを行います。【高齢者支援課】	A	A	①	A	<ul style="list-style-type: none"> 講演会の平均出席者数は出して頂きたい。 事業の参加者数を出して頂きたい。 →介護予防教室については、令和3年は6コース77人参加。平均は12.8人。 令和4年は現時点で5コース61人。平均は12.2人となっている。【高齢者支援課】 健診の有効性の報告を出す。 取組「2」について、コロナの影響でやむを得ないと思いますが歯(歯茎)は高齢者の健康維持に必須不可欠です。健康な長寿のためにも、この取組は特に積極的に取り組んでいくべきことと考えます。 →重要な取組であり、今後の実施方法等について検討していきます。【高齢者支援課】 コロナ禍での取組でありながら全体的に数値、参加人数が増加していて良かったのではないかと思います。 参加者の固定化に関しては何故この取組が必要なのか、もう少し詳しく広報等へ書き、目に留まるようにすると良いのではないかと思います。 →現状事業周知に一番有効な広報への掲載内容等について工夫をすると共に、その他の周知方法等の改善に取り組みたいと考えています。また固定化された参加者(リピーター)にも知人等へ周知の一端を担ってもらうなど検討をしています。【高齢者支援課】 講座の実施が難しいことは十分に理解できることではあるが、代替の活動ができずにC評価が続いてしまうのは望ましくないと考えます。課題にも上がっている「情報発信」を期待します。 健康づくりへの活動はよくやれている。口腔ケアはフレイル対策の中に取り込み成果を出せるとよい。 	<p style="text-align: center;">委員評価票数</p> <p style="text-align: center;">0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15</p> <p>S</p> <p>A </p> <p>B</p> <p>C</p>
				2 一人ひとりの口腔ケアに関する知識と関心を深めるため、歯科に関する介護予防講座(シニアのためのビューティーケア)を開催します。【高齢者支援課】	C	C				
				3 誰もが健康を実感しながら暮らすことができるよう、各種健(検)診、健康教育、健康相談、地域イキイキ元気づくり事業、ふれあいウォーク、食育などの様々な健康づくり事業を実施します。【健康課】	A	A				
				4 健康づくり事業や各種健(検)診を周知し、市民が積極的に参加・受診するよう普及啓発を行います。【健康課】	A	A				